

東北関係の参院議員

「民主主義の破壊」

「国民に説明継続」

安全保障関連法が19日未明、参院で可決され、成立した。法案に反対した東北の野党議員は「憲法違反の法案であり、成立は民主主義の否定」などと激しく抗議。賛成した与党議員らは「日本の平和や安全を守るために必要な法律」と主張し、引き続き国民に理解を求める姿勢を示した。「憲法違反という根本的な問題を抱えた法案だ」。民主党の桜井充氏(宮城選挙区)は、多くの憲法学者らが法案の違憲性を指摘し

た点を問題視する。「憲法は権力者を縛るものなのに、最高権力者である首相が自らルールを破り、民主主義を破壊している」と痛烈に批判した。同党の増子輝彦氏(福島選挙区)も「立憲主義に反し、法的安定性も無視して分た」と憤った。維新の党の寺田典城氏(比例)は、前日の参院本会議で首相問責決議案の賛成討論に立ち「国民の声を無視し、国会が多教派を行くのは民主主義ではない」と厳しく指摘した。一方、賛成した与党議員

安全保障関連連法案に対する東北選出参院議員の投票状況

議員	所属政党	当選回数	投票内容	コメント	
				憲法9条の当初解釈を重視し、米との同盟を重視した。米との同盟を重視	国民を守るために必要な法律。参院では丁寧な議論ができた
青森 山崎 力	自	3	○	○	憲法9条の当初解釈を重視し、米との同盟を重視した。米との同盟を重視
岩手 平野 達男	無	3	○	○	道憲であり、自衛隊だけでなく、国民を説明し、自衛隊派遣上の国会関与の強化を前向きに賛成
宮城 桜井 充	民	3	○	×	日米同盟を強固にし、抑止力を高められる。国際平和のために必要
山形 岸 宏一	自	3	○	○	憲法違反という根本的な問題がある。首相は民主主義を壊している
福島 森 雅子	自	2	○	○	[60日ルール]を適用させず参院として意思決定できるとの関係を含憲
秋田 石井 浩郎	自	1	○	○	審議時間は衆院よりわずかに短くないが、参院は議論を深掘りできた
山形 大沼 瑞穂	自	1	○	○	国民に全て理解してもらおうのは困難しいが、国会での審議ははるかに
岩城 岩城 光英	自	3	○	○	日本は一国平和主義に陥らざる、世界平和に貢献する必要がある
福島 森 雅子	自	2	○	×	憲法違反だ。立憲主義に反し、法的安定性も無視している
宮城 増子 輝彦	民	2	○	×	国民の平和と安全の間を守るために法案だ
福島 森 雅子	自	2	○	○	戦争に行かせないための法律。平和な暮らしを守る

【表の見方】選挙区、議員名、所属政党、当選回数、投票内容、コメントの順。党派はそれぞれ自民(自)、民主(民)、賛成(生)、次世代(次)、無所属(無)。投票内容は、○は賛成、×は反対。敬称略

法案を審議した参院特別委員会委員長を務めた愛知府菅井が参選し、結果として「政府が国民に不安を与えた面もある」と振り返り、「法律を適用する際に『戦争法案』ではないと丁寧に説明していく」と強調した。同党の大沼瑞穂氏(山形選挙区)も「審議は尽くされたが、国民の理解は十分に得られたとは言えない」とコメントし、引き続き説明に努める考えを示した。次世代の党の中野正志氏(比例)は、同党など野党3党が運用時の国会関与の強化などで与党と意思を一致させたことで、民主党などが言う『強行採決』との批判は当たらないと述べた。